

千葉大学病院にて出生された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年10月3日

小児外科

小児外科では、胎便関連性腸閉塞症における穿孔リスク因子の検討に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2011年1月1日～2022年12月31日の間に胎便関連性腸閉塞症と診断された方

1. 研究課題名

「胎便関連性腸閉塞症における穿孔リスク因子の検討」

2. 研究期間

2023年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

診療録に記載された以下の情報を解析します。出生後に撮影された赤ちゃんの腹部単純レントゲン撮影を見直しお腹の中にある小腸という腸管の拡張具合を評価しその程度の推移を解析します。拡張具合は腸閉塞の程度を相対的に表しております。重篤な腸穿孔という病態を回避するため、拡張具合の推移から穿孔予測が立てられないかを探ることが当研究の目的です。また妊娠中の母体に対する治療(ステロイド投与、酸化マグネシウム投与)や患児自身に対する治療(インダシン投与、ガストログラフィン注入法)も児の腸穿孔に寄与する可能性があるとして過去に報告されております。上記の項目も同時に診療録から情報を得て穿孔に対して影響するかどうかを研究します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている日齢、性別、体重、在胎週数、病歴、合併症、母体妊娠歴、家族歴、血液検査値、画像所見、病理組織所見、治療歴

5. 研究組織

本研究は千葉大学病院（研究責任施設）と松戸市立総合医療センターが協力して行われます。

研究責任者

千葉大学医学部附属病院 小児外科 教授 菱木 知郎

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話：043-222-7171（代表） 内線：6934 小児外科

【情報提供に協力してもらう機関等】

機関名	責任者, 施設長
松戸市立総合医療センター小児外科	松浦 玄, 尾形 章

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院小児外科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院小児外科

医師 勝俣 善夫

043 (222) 7171 内線 71871

